

## 岐阜市教育委員会教育長 水川和彦氏（岐阜大学客員教授）による 特別講話「教師とは何者？」を開催

### 【概要】

12月15日、教育学部において、岐阜市教育委員会教育長であり本学の客員教授でもある水川和彦氏による特別講話「教師とは何者？」を開催しました。

本講話は、岐阜市教育委員会と教育学部のタイアップ事業「現代学校教育の諸課題～不登校児童生徒対応の体験学習～」の一環として実施したものです。当該事業は、岐阜市教育委員会が「岐阜市内中学校のフリースペースにおいて学生のマンパワーを借り不登校対策の充実を図ること」、教育学部が「不登校対策の体験学習を通じて教員養成プログラムの更なる充実や経験値の高い教師の育成を図ること」を目的としており、今年2月13日に岐阜大学で開催した「岐阜市との連携推進会議」において、柴橋市長の発言を契機に始まったものです。

水川氏は、『教師とは子どもにとってどんな存在なのか、どんな存在であるべきなのか？』について自身の教員経験を踏まえながら教職を目指す学生たちに語りかけました。学生たちも共感を持ちながら熱心に耳を傾けていました。

